

8 学校アクションプラン

令和7年度 伏木高等学校アクションプラン -1 (1) -					
重点項目	学習活動（学習指導）				
重点課題	生徒の意欲・能力を引き出す授業と課題を通して、学習習慣の確立を図る。				
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対して自信が持てず、積極性に欠ける生徒が多く見受けられる。学習習慣が定着しておらず、基礎的な内容の理解が深められていないことが原因と考えられる。わかりやすい授業と適切な課題の提示により、自律的学習への転換を図りたい。 ・わかりやすく、興味をもたせる授業を行うために教員がICT機器を用いることは多いが、生徒自身がタブレットを用いる機会は多くはない。プレゼンテーション活動や授業のまとめなどにタブレットを利用し、主体的に取り組む活動を増やしたい。 				
達成目標	<table border="1"> <tr> <td>① 年度当初より「学習時間が30分以上増えた」生徒の割合</td> <td>② 教員相互による授業研究を年間3回以上行った教員の割合</td> </tr> <tr> <td>70%以上</td> <td>80%以上</td> </tr> </table>	① 年度当初より「学習時間が30分以上増えた」生徒の割合	② 教員相互による授業研究を年間3回以上行った教員の割合	70%以上	80%以上
① 年度当初より「学習時間が30分以上増えた」生徒の割合	② 教員相互による授業研究を年間3回以上行った教員の割合				
70%以上	80%以上				
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリやGoogleクラスルームを利用し、朝学習、週末課題などに積極的に取り組めるようにする。 ・面談や学習計画作成を通し、担任や科目担当者から個々の生徒に適した学びの方法を助言する。 ・ICT機器を用いた授業や生徒が能動的に考え、学びを深める授業の研究のため、互見授業や教員間で指導法についての研修を行う。 				
達成度	<table border="1"> <tr> <td>① 1学年：34.9% 2学年：41.3% 3学年：46.3%</td> <td>全学年平均 41.8%</td> <td>② 96%</td> </tr> </table>	① 1学年：34.9% 2学年：41.3% 3学年：46.3%	全学年平均 41.8%	② 96%	
① 1学年：34.9% 2学年：41.3% 3学年：46.3%	全学年平均 41.8%	② 96%			
具体的な取り組み状況	<p>① 朝学習や週末課題を計画的に提示した。また、授業内容の定着を図るために小テストで自主学習を促した。紙媒体の掲示や配付以外にもGoogleクラスルーム等で課題の配信や指示を行うなど周知を徹底した。</p> <p>② 6月と11月に2週間の互見授業期間を設け、「授業参観レポート」を担当者に渡すだけでなく、参考になった点をエクセルファイルに入力し、教員間で共有した。生成AIの校内研修会で授業での活用について考えた。</p>				
評 価	<table border="1"> <tr> <td>① C</td> <td>② A</td> </tr> <tr> <td>「授業は興味がわき楽しい」は53.8%（昨年度49.7%）。「先生の説明が分かりやすく、授業の内容が理解できる」は81.7%（76.7%）。「ICTの利用で家庭学習に積極的に取り組めるようになった」は43.6%であり、自学の習慣については課題が残る。</td> <td>ほぼ全員が互見授業やICT・生成AIに関する校内研修に3回以上参観した。教育実習生の授業参観後に指導担当者と意見交換を行うなどしたことも自らの指導法を考える良い機会になった。</td> </tr> </table>	① C	② A	「授業は興味がわき楽しい」は53.8%（昨年度49.7%）。「先生の説明が分かりやすく、授業の内容が理解できる」は81.7%（76.7%）。「ICTの利用で家庭学習に積極的に取り組めるようになった」は43.6%であり、自学の習慣については課題が残る。	ほぼ全員が互見授業やICT・生成AIに関する校内研修に3回以上参観した。教育実習生の授業参観後に指導担当者と意見交換を行うなどしたことも自らの指導法を考える良い機会になった。
① C	② A				
「授業は興味がわき楽しい」は53.8%（昨年度49.7%）。「先生の説明が分かりやすく、授業の内容が理解できる」は81.7%（76.7%）。「ICTの利用で家庭学習に積極的に取り組めるようになった」は43.6%であり、自学の習慣については課題が残る。	ほぼ全員が互見授業やICT・生成AIに関する校内研修に3回以上参観した。教育実習生の授業参観後に指導担当者と意見交換を行うなどしたことも自らの指導法を考える良い機会になった。				
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間と学力・進路の関係を統計的に示したり、学習時間を増やして効果があった先輩の効率的な学習法を共有したりして、主体的な取り組みにつなげる。 ・生徒自身にどうすれば学習時間を増やせるかなど学習環境の改善について年度始めに考えて実践させ、数ヶ月後に改善の度合いを報告させてはどうか。 				
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・互見授業やICT・生成AIに関する校内研修の成果もあり、興味を持って授業を受けて、授業内容を理解できていると感じる生徒の割合は増えているが、学力向上や進路選択の可能性を広げるためにも、主体的に学習に取り組み、学習量を増やすための具体的方策を講じる必要がある。 				

〈評価基準〉 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

令和7年度 伏木高等学校アクションプラン - 1 (2) -

重点項目	学習活動（国際理解教育）																																																																																																																													
重点課題	国際交流活動の推進																																																																																																																													
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 本校独自のSETプログラム（毎朝5分の英語放送）により、必要な英語の基礎力、及び、会話力を身につけている。 第2外国語として、中国語、韓国語、ロシア語を学び、2年生のときに語学研修に参加している。 学校全体で友好校を受入れ、ホームステイを実施。また、2年生の語学研修時に友好校を訪問し、交流とホームステイを体験している。 																																																																																																																													
達成目標	① SETプログラムに積極的に取り組む。 ② 第2外国語の学習に積極的に取り組む。 それぞれ80%以上	③ 国際交流活動に積極的に取り組み、充実感を得る。 （感想より）																																																																																																																												
方 策	<ul style="list-style-type: none"> SETプログラムへの積極的な取り組みへのサポート。 海外語学研修の実施と継続への取り組み。 受入れにともなうホームステイの協力要請。 情報発信。 																																																																																																																													
達 成 度	① SETへの取り組み <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一生懸命だった</td> <td>19</td> <td>13</td> <td>29</td> <td>61</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>まあまあ一生懸命だった</td> <td>21</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>77</td> <td>48.7</td> </tr> <tr> <td>あまり一生懸命でなかった</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>一生懸命でなかった</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>68</td> <td>158</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> ② 第2外国語への取り組み <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実していた</td> <td></td> <td>24</td> <td>31</td> <td>55</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>まあまあ充実していた</td> <td></td> <td>21</td> <td>26</td> <td>47</td> <td>43.1</td> </tr> <tr> <td>あまり充実していなかった</td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>充実していなかった</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td></td> <td>46</td> <td>63</td> <td>109</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3年で第2外国語を選択していない</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	総計	%	一生懸命だった	19	13	29	61	38.6	まあまあ一生懸命だった	21	29	27	77	48.7	あまり一生懸命でなかった	3	4	8	15	9.5	一生懸命でなかった			4	4	2.5	無回答				1	0.6	総計	43	46	68	158	100		1年	2年	3年	総計	%	充実していた		24	31	55	50	まあまあ充実していた		21	26	47	43.1	あまり充実していなかった		1	5	6	5.5	充実していなかった			1	1	0.9	総計		46	63	109	100	3年で第2外国語を選択していない			5	5		③ 語学研修の充実 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>韓国</th> <th>台湾</th> <th>北海道</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても充実していた</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>31</td> <td>67.4</td> </tr> <tr> <td>充実していた</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>21.7</td> </tr> <tr> <td>あまり充実していなかった</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>充実していなかった</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>32</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>46</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>（北海道コースは3月実施）</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2外国語への取り組みが充実していなかった理由 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">難しい</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td>授業が少ない</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> </table>		韓国	台湾	北海道	総計	%	とても充実していた	25	4	2	31	67.4	充実していた	6	2	2	10	21.7	あまり充実していなかった	1		1	2	4.3	充実していなかった			3	3	6.5	総計	32	6	8	46	100	難しい	3名	授業が少ない	1名
	1年	2年	3年	総計	%																																																																																																																									
一生懸命だった	19	13	29	61	38.6																																																																																																																									
まあまあ一生懸命だった	21	29	27	77	48.7																																																																																																																									
あまり一生懸命でなかった	3	4	8	15	9.5																																																																																																																									
一生懸命でなかった			4	4	2.5																																																																																																																									
無回答				1	0.6																																																																																																																									
総計	43	46	68	158	100																																																																																																																									
	1年	2年	3年	総計	%																																																																																																																									
充実していた		24	31	55	50																																																																																																																									
まあまあ充実していた		21	26	47	43.1																																																																																																																									
あまり充実していなかった		1	5	6	5.5																																																																																																																									
充実していなかった			1	1	0.9																																																																																																																									
総計		46	63	109	100																																																																																																																									
3年で第2外国語を選択していない			5	5																																																																																																																										
	韓国	台湾	北海道	総計	%																																																																																																																									
とても充実していた	25	4	2	31	67.4																																																																																																																									
充実していた	6	2	2	10	21.7																																																																																																																									
あまり充実していなかった	1		1	2	4.3																																																																																																																									
充実していなかった			3	3	6.5																																																																																																																									
総計	32	6	8	46	100																																																																																																																									
難しい	3名																																																																																																																													
授業が少ない	1名																																																																																																																													
具体的な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 7月に韓国清明高校が来校。式典、HR、文化活動等を通して交流、ホームステイ1泊。 海外/国内語学研修を実施。（2学年対象12月）韓国と台湾でホームステイ1泊。 世界の料理体験（中国、韓国、ロシア）。（3学年対象12月と2月） 学校ホームページに国際交流事業に関連する活動を発信。 次年度、SETプログラムの見直し。 																																																																																																																													
評 価	① ② A ①「一生懸命」と「まあまあ一生懸命」を合わせて87.3%であった。 ②「充実」と「まあまあ充実」を合わせて93.1%であった。	③ A 韓国コースと台湾コースの「充実」と「まあまあ充実」を合わせて97.4%。 北海道コースは3月に実施。																																																																																																																												
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 語学力の向上には語学検定が有効であるので、今以上の推進を検討するとよい。（理由：1. 明確な目標設定になる。2. 学習計画が立てやすい。3. 実力が客観的に把握できる。4. 進学や就職でアピールできる。5. 学習意欲の継続に繋がる。） 毎朝5分の英語放送を15分は欲しい。ただ聞くだけでなく小テストをしたらどうか。 語学研修をはじめとし、国際交流の取り組みをしっかりと実践している。 県下唯一の国際交流科単独校としての誇りをもって、引き続き特徴のある活動を継続することを期待している。 																																																																																																																													
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 語学検定やスピーチ大会などに参加するためには、生徒の努力も必要であるが、指導者もそのような意識をもって取り組む必要がある。生徒減や、生徒の質の多様化に伴い、柔軟に取り組む必要があるだろう。 次年度、SETプログラムの見直しが実施される予定。 国際情勢に左右される語学研修であるが、生徒減に伴い、どのような形で継続していくことができるのか検討が必要である。 																																																																																																																													

令和7年度 伏木高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活（生徒指導、保健衛生）	
重点課題	基本的生活習慣の定着と生徒の主体性を重視したモラル意識の向上 環境美化と健康への意識向上	
現 状	<p>【基本的生活習慣の定着】</p> <p>基本的生活習慣の定着と、生徒の主体性を重視したモラル意識の向上を目指し、授業、学校行事、部活動など学校生活のあらゆる機会を通して指導する。またSNS等を介した友人間のトラブルが散見される。</p> <p>【環境美化と健康への意識向上】</p> <p>環境美化活動への意欲的な参加や取り組みについて生徒の意識は高まっており今後も継続的に活動を行っていききたい。学校生活を健やかに送るため、基本的生活習慣の確立を目指して生活の中で食事、運動、睡眠休養など健康への意識を高めていききたい。</p>	
達成目標	<p>① 自身のモラル意識が高いと評価する生徒の割合 95%以上</p> <p>② 所属学年のモラル意識が高いと評価する生徒の割合 80%以上</p>	<p>③ 清掃など環境美化活動へ意欲的に参加したという生徒の増加</p> <p>④ 学校生活の中で健康（運動）についての意識が向上したという生徒の増加</p>
方 策	<p>【基本的生活習慣の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活調査を年間2回実施し、現状の把握に努め、個人面接やHR、全校・学年集会において生活習慣の改善の啓発に努める。また、SNSによるトラブルや闇バイトの被害に巻き込まれないよう指導する。 <p>【環境美化と健康への意識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒対象にアンケートを実施し、清掃活動の取り組み状況を把握する。美化週間などの活動を通して、環境美化活動やゴミ捨てマナーの意識付けを図る。 食事、運動、睡眠休養など生徒の生活習慣の実態を把握し、健康的な学校生活を送れるよう保健委員会など生徒主体の活動を通して意識の向上に取り組む。 	
達 成 度	<p>① 服装や身なりを整える97% 時間を守る98%</p> <p>公共の場でのマナー99% あいさつ励行98%</p> <p>② 所属学年のモラル意識 96%</p>	<p>③ 清掃に真面目に取り組んだ R6 95.8%→R7 98.1%</p> <p>④ 運動を意識しているか意識している R7 63.9%</p>
具体的な取り組み状況	<p>【基本的生活習慣の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となって校則見直しについて取り組み、教員や保護者との話し合いを重ね規範意識と自己指導能力の向上を図った。 スーパーモラル顕彰制度を利用して毎学期、該当生徒を表彰している。 <p>【環境美化と健康への意識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集会や美化週間の機会などを捉え、保健委員会生徒から全校生徒へ呼びかけ、清掃やゴミ捨てマナーなど環境美化の意識を高めて積極的な活動を促している。 文化祭や生徒保健委員会を中心に生徒の学校生活の中で健康意識が高まるよう働きかけた。保健日よりで日頃簡単にできる運動コーナーを紹介できた。 	
評 価	<p>① ② A</p> <ul style="list-style-type: none"> 各観点において生徒のモラル意識が高い。 友達と相互に規範意識を高めている。 	<p>③ ④ A</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は環境美化や健康について、意識を高く持って活動している。継続していききたい。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 校則見直しを生徒が保護者や教員と同じ土俵で話し合うのはいいことだと思う。生徒の意見を取り入れた校則見直しに期待している。 毎年高評価になっており、素晴らしい。 学校側だけではなく生徒側（保健委員会）からの働きかけがあることが良いと感じる。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体となった校則見直しを通して、校則の背景や理由についても理解し、生徒がその意味を理解して自主的に校則を守るような指導につなげる。 清潔で整った学習環境づくりの推進と、主体的な健康保持増進の意識向上を課題に、保健委員会から保健日よりなどを活用し、発信できるように促す。 	

〈評価基準〉 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

重点項目	進路支援（進路指導）	
重点課題	進路目標の明確化と進路実現	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の適性に応じた進路目標を抱くことができるように、進路に関する情報提供の機会を多く持ち、個々に寄り添った面談を重ねるように努めている。 ・進路目標の決定を早期に行うことにより、各自の課題を明確に把握し、日々の学習に対するモチベーションの向上に努めている。 	
達成目標	① 2年次で経験するインターンシップやオープンキャンパスなどに積極的な参加ができた生徒の割合	② 第3学年の進路決定について、満足のいく進路実現ができた生徒の割合
	85%以上	90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路関係行事、総合的な探究の時間等を利用し、進路意識を高め、早期に進路目標を明確にさせるよう努める。 ・2年次に行うインターンシップやオープンキャンパスなどへの参加を、進路選択の貴重な体験の場として位置づける。積極的かつ意欲的な参加を通して、具体的な目標へと結びつけることができるようサポートに努める。終了後は、レポート作成やプレゼンテーションを行うことを通して、生徒同士が多くの情報を共有し、互いに刺激し合いながら自己の適性を把握し進路意識の向上を図る。 ・面談を重ねることで、現実を客観的に把握し、将来にむけての課題を明確にさせる。 	
達成度	① 86.7%	② 94.5%
具体的な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年については、1学期の事前指導のもと、夏休みに各自の進路を具体的にイメージした活動を行うことができた。今年は就職希望者がおらず、オープンキャンパスのみであったが、事後報告書は的確にまとめたものが多く見られ、情報の共有から互い刺激に繋がった。 ・3学年については、前年度からの受験に特化した補講の取り組みや目標を同じくする者同志の努力が結実した。教員からのサポートと共に自己実現に向けて努力する諦めない気持ちが伴い、生徒たちの満足度の高さが読み取れる結果となった。 	
評 価	② A	③ A
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を早期に抱くために、まずは2年の夏休みに具体的な行動を起こすことが鍵となると考える。自らが積極的に参加した経験が、今後の進路選択に繋がると期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路内定者の中でも「とても満足のいく進路決定ができた」と回答する者が58%を越えている。生徒の努力は勿論のこと、学校全体で、教職員一丸となってサポートした成果であると思われる。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標を早期に決定し、それに向けて日々の学習のモチベーションを向上させる正攻法が上手く機能していると思う。また、早期の決定は、傾向と対策の取りやすさに結びついていくと思う。 ・大学でも就職ガイダンスやインターンシップの参加を促しており、体験するほど意欲的になる傾向があるので、進学先でも頑張ってもらいたい。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスの事後報告書について、目的や動機付けをより明確にし、多くの者が共有できる工夫が必要。 ・進路変更を余儀なくされる場合もあることから、柔軟性も身につけて対応していくことが大切。 ・今後も生徒一人ひとりの進路実現に向けて、個々に寄り添った指導を行っていきたい。 	

〈評価基準〉 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

重点項目	特別活動（地域交流活動、読書指導）	
重点課題	地域交流活動の活性化と読書教育の充実	
現 状	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <p>本校では地域の方々と関わりながら行うボランティア活動などを数多く実施しており、生徒の成長を育む重要な活動の一つとなっている。広く参加を呼びかけるとともに、積極的に情報発信することで、意欲的に参加する生徒を育てたい。</p> <p>【読書教育の充実】</p> <p>本校では、読書体験が少なくその効用や楽しさを経験していない生徒が多い。図書委員会の活動を活発に行い「BOOK TALK」や「図書だより」等の広報活動を通じて、読書に親しむことができる環境を整え、読書の魅力を伝えたい。</p>	
達成目標	① 生徒が地域交流活動に参加して充実感を感じ、意義ある活動と捉える。（事後アンケートで調査）	② 読書活動に積極的に参加できた生徒の割合 75%以上（事後アンケートで調査）
方 策	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <p>地域活動への参加を学年や部活動、委員会といった種々の活動単位ごとに積極的に呼びかけ、例年以上の参加率を目指す。また、地域活動の様子を学校HPやインスタグラム等で広く発信することで、自己有用感の涵養につなげたい。</p> <p>【読書教育の充実】</p> <p>新入生への図書館オリエンテーションと全学年への朝読書を実施する。図書館の読書コーナーの内容や展示の仕方を工夫したり、図書委員会で図書館の利用を促進するための企画や広報活動を行ったりする。</p>	
達成度	① 参加率 R5:48%→R6:52%→R7:58% 充実感 R5:92%→R6:95%→R7:96%	② 朝読書に積極的に参加できた生徒の割合 R6:78.9%→R7:85%
具体的な取り組み状況	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の諸活動に積極的に参加させていただいた。また、さまざまなボランティア活動にも取り組んだ。インスタグラム等で広く発信したことは、意欲向上につながった。 <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各クラスの生徒図書委員が朝読書の呼びかけやポスターの作成、学級文庫の設置を通して図書館の本を手にする機会を設けた。 生徒図書委員からの意見やアイデアを盛り込んだ「BOOK TALK」や「図書だより」を作成・発行し、読書の魅力を伝え、図書館の利用促進につなげた。 図書館の環境を整えるとともに教科との連携を意識して図書館利用促進に努めた。 	
評 価	① A 参加した9割以上の生徒が充実感を感じている。来年度参加したい生徒も8割以上。	② A 朝読書に積極的に参加できた人が昨年度に比べ6.1%上昇した。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流活動はSNSの活用だけでなく、マスコミなどにも取り上げてもらえるとう層良いフィードバックになると思う。まずは参加することが重要なので、ある程度の強制力があってもよいのではないか。 読書を習慣化させる取り組みとして、①生徒の興味に合った本の紹介、②短時間・短編集などからの取り組み、③読書記録や感想の共有、等を行うと良いのではないか。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕の精神慣用だけでなく、地域防災の観点からも、交流活動の意義や必要性を生徒に伝え、今後もボランティア活動を中心に、地域との交流を継続していきたい。 図書委員会の主体的かつ活発な活動を促し、生徒の意見やアイデアを盛り込んだ「BOOK TALK」や「図書だより」を作成・発行し、図書館の利用を促進する。 図書館の読書コーナーの展示の仕方について、生徒の興味をひくような工夫を行う。 	

〈評価基準〉 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった